ロシア派遣留学を終えて

情報文化学科２年　石田　貴大

私たちは８月２７日から１２月２３日までの約４か月間ロシアのウラジオストクという都市にあるウラジオストク経済サービス大学、通称ВГУЭС（ブグエス）と呼ばれる大学に派遣留学に行きました。今年は今まで先輩方が留学に行っていた極東連邦大学とは違うということで最初は分からないことだらけで不安を感じていました。しかし、国際情報大学の先生方や、ウラジオストクでお世話をしてくれた日本人の方、向こうの大学の先生や友達、そして同じロシア留学の仲間たちが支えてくれたおかげで大きな怪我やトラブルもなく留学を終えることができました。しかし私たちが留学に行くまでにはさまざまな問題が起こりました………

○留学に向けての準備

まず留学に行くために一番必要と言われているのがパスポートです。
私の場合は以前からパスポートを取得していたため特に問題はありませんでしたが、パスポートを取得していない方は留学に行くと決意したらすぐに取得のための準備をすることをお勧めします。

そしてパスポートのほかにも大事なものがたくさんあります。
一つはビザです。ビザの発行はパスポートの取得後にロシア領事館に行ってお願いするのですが、これがまた大変でした。ビザの発行には病院で HIV 検査を受けて証明書を受け取る必要がありました。しかしその事実を知った時には留学まであと 3 週間しかありませんでした。そこで私たちはいろいろな病院を調べ、検査当日に証明書を発行してくれる病院を見つけ、その後すぐに検査を受けました。そしてすぐに領事館へパスポートと HIV 証明書を渡しにいくと、あと一つ書類が足りないと言われたのです。それは「アンケート」と呼ばれるもので、渡航の目的や、いつごろまで滞在するのかを記せというものでした。アンケートはロシア領事館のホームページにあるもので、それを確認していなかった私たちは慌てました。なので学校側に言われたことだけするのではなく、自分で事前に調べることが大切だと感じました。

○出発と到着

私たちが日本からロシアのウラジオストクの派遣留学へ旅立ったのは８月２７日の昼頃でした。成田空港からの出発であったため、私は同じロシア留学組の友人６人とともにバ

スタクシーを利用し、深夜３時ごろ新潟を出発し朝の９時ごろに成田空港へと到着しました。他の友人たちは新幹線や、深夜バスを駆使して朝の１０時ごろには全員が成田空港に到着しました。お見送りには神長先生が来てくださったため、飛行機にあまり慣れていない私たちでも安心することができました。そして私たちは期待と不安を胸にウラジオストクへと旅立ちました。

そしてウラジオストクの空港に着くと、当然ですが空港関係者は日本語をしゃべってはくれません。もし書類に不備があったらどうしよう、自分たちの拙いロシア語で意味が通じるのだろうかなどいろいろ考えていましたが、そんな心配もなく、パスポートの検査も私たちがしゃべれなくてもパスポートを出すと向こうの方がここにサインしなさいとかジェスチャーで教えてくれるので特に問題はありませんでした。そして空港の入り口まで行くとプラーソル先生がお出迎えに来てくれました。私たちは自分たち以外に日本語を話してくれる人を見てものすごく安心したのを覚えています。

○授業について

ロシアに着いてから３日後に、本格的なロシア語の授業が始まりました。最初の授業はロシア語の教科書を使って文法や単語を学ぶ授業でしたが、先生が話すロシア語のスピードについていけず、みんなわけのわからないまま９０分がすぎてしまいました。（ロシアでの１コマの授業時間は大学と変わらず９０分です）その後の授業も先生の話す単語の意味を辞書で調べているうちにすぐに次の単語が出てきて辞書で調べるスピードが追い付かない状態になっていました。そしてロシアに着いての初日の授業はあっという間に終わってしまいました。授業が終わった後に「このままではまずい」と思ったのを今でも鮮明に覚えています。寮に戻ってその日に習った単語を一つずつ辞書で調べてノートに書く、最初の１週間はそれで精一杯でした。

2 週間くらい経つと、単語の意味も初めて授業を受けた時よりもスムーズに入ってくるようになって、発音など別のことにも気をつかうようになりました。

1か月が経つと、クラス分けが行われました。私たち日本人の留学組は3クラスに分かれ、18 人がそれぞれのクラスに 6 人ずつに割り当てられました。私のクラスは中国人、韓国人、インドネシア人、ベトナム人がいました。彼らは私よりロシア語がずっと上手で、最初はロシア語での意思疎通が難しく、彼らともっと話すためにロシア語の勉強を頑張ろうと決意した時もありました。

先生方も私たちが徐々にロシア語を理解していっているのがわかるようで、少し難しい宿題を出されることもありました。私が宿題の中で一番難しいと思ったのは指定された単語 10 個程度を使ってロシア語の会話文を自分たちだけで考えるというものでした。最初にその宿題を出されたときは困惑しました。しかし、教科書の会話文を参考にして自分たちだけのオリジナルの会話文をなんとか完成させました。その会話文を先生に発表したとき、

面白い文だと笑ってくれたのを覚えています。もう一つ、私が珍しいと思う宿題がありました。それは自分の住む町のことをパワーポイントを使って紹介するといったものです。もちろんロシア語を使って紹介するので苦戦しました。私は人口、観光名所などについて書いたのですが、同じクラスの中国人たちの住んでいる町の景色が綺麗で、またパワーポイントの紹介もものすごく凝っていてそのあとに紹介するのが少し恥ずかしかったです。

私たちにロシア語を教えてくれる先生方はユニークで優しい先生ばかりでした。私たちが困った時には助けてくれたり、時には一緒にお茶を飲んだりと、私たちのことについて本当に親身になってくれました。先生方との出会いは私のロシア留学の中でも非常に大きなうれしい出来事でした。

〇寮での生活について

ウラジオストク経済サービス大学での宿泊先は大学内にある寮でした。私たちは 2 人一部屋で生活していました。寮内には基本的には寮母さんと警備員の方の 2 人がおり、何かトラブルがあった時は彼らに言うようにしていました。部屋はそれぞれ細かな違いはありますが、基本的にベッドが 2 つ、長机が 1 つあり、2 人で過ごすにはちょうどいい広さの部屋であったと思います。トイレは 1 つでシャワールームと繋がっていました。冷蔵庫が各部屋に一つずつあるのですが、日本の製品と比べると保冷は劣っており、冷凍庫に入れたものは時々溶けていることもありました。

寮での生活で私たちを一番苦しめたのは「ゴキブリ」の存在です。どんなに部屋をきれいにしていようが、発生するゴキブリには頭を悩ませられました。どこの部屋にもゴキブリは必ず現れるので、私たちは割り切って生活していました。留学最後のほうにはあまり気にしなくなっていました。

食事面についてですが、私たちは基本的に朝食、夕食は寮で作っていました。昼食は大学のすぐ近くに屋台があるので授業が終わると、みんなそこでピザやピロシキ（ロシアの伝統的なパン）、ホットドッグなどを買っていました。値段も 50～100 ルーブル（日本円で約 200～300 円程度）と安いのでおすすめです。授業がある平日は時間がないので私は基本的にスーパーで前日に購入したサンドイッチやフルーツを食べていました。夕食は寮にあるキッチンで自炊をしました。スーパーにはお米や、うどん、そばなど日本食もそろっているため食事に不安を感じたことはあまりありませんでした。もちろんロシアの料理を作ったりもしました。

上の写真はロシアの伝統料理「ボルシチ」です。このボルシチはスーパーでボルシチの素として売っているのであとは玉ねぎ、キャベツなどお好みで野菜を切って鍋にボルシチの素とともに入れて煮込むだけでできるのでとっても簡単です。

○ロシアでのイベント

私たちはロシア語の語学を学ぶとともに、留学においてもう一つ大事な使命がありました。それは現地のロシア人と交流をすることです。私は授業を通して知り合ったロシア人たちと共に散歩したり、一緒に映画を見に行ったりもしました。

そのほかにも留学生全員で遠足にいったり、

ウラジオストクの別の大学で行われた音楽祭に私たちがロシアの民族衣装を着て出たり、

　このほかにも、イベントがたくさんあって本当に１日１日が新鮮でした。
イベントの大体は向こうの先生が企画してくれて、先生自身も引率で来てくれるので安心でした。水族館や、博物館などいろいろなところに行き、珍しかったのは海軍学校の船の船内を見学するというものでした。船内の案内は海軍学校の生徒のみなさんがしてくれました。船の中の道具をロシア語で覚えて、のちに暗記クイズをするといったオリエンテーリングみたいなこともできて楽しかったです。

○さいごに

留学に行く前はビザの取得等に手間取り、私たちは本当に留学に行けるのだろうか？と不安に思った時もあり、ウラジオストクについてからも最初の 2 週間は環境の違いに戸惑い日本に帰りたいと思うこともしばしばありましたが、慣れてくると、4 か月ってなんて短いんだろうと考えるようになりました。もっともっとウラジオストクにいたいと思えるほど濃密な 4 か月間を過ごすことができました。もし留学に行くかどうか迷っていて、今このレポートを見ている人がいたら、留学に行くことを私は強くおすすめします！もちろんお金のことなどさまざまな問題がありますが、私も親を必死で説得して、今では留学に行ってよかったと思っています。最後に私が留学に行くにあたり支えてくださったすべての方々に感謝します。Спасибо!!